

掲示板

皆さんの頁です。研究助成金・補助金・賞などの候補者公募、不用品の贈呈・交換・求文献などにご利用下さい。

この欄への掲載については、日本化学会ホームページ www.chemistry.or.jp/journal/kakou-1/kejiban.html をご参照下さい。

第10回化学人材育成プログラム支援専攻募集

(一社)日本化学工業協会は、「化学人材育成プログラム」として、化学産業が大学に求める人材ニーズを発信し、これに応える大学専攻(博士後期課程)とその学生を支援しています。支援内容としては、奨学金の給付(博士後期課程学生1人あたり

20万円/月×3年間、各学年1名ずつ計3名に支給)、化学企業への就職支援、会員企業との交流、化学産業教育の支援などの事業を展開しています。このたび第10回目の募集を開始しますので、ご検討いただきますようお願い申し上げます。多くの化学系専攻のみならずからのご応募をお待ちしております。詳細は、日本化学工業協会HP (<https://www.nikkakyo.org/news8-page>) をご参照下さい。募集期間：2019年9月1日(日)～10月4日(金)〔必着〕。連絡先：(一社)日本化学工業協会 化学人材育成プログラム協議会事務局 電話(03)3297-2578 FAX(03)3297-2606、E-mail: jinzai_ikusei@jcia-net.or.jp

開することを目的している。令和2年度の公募研究の募集では、蓄電固体界面を用いる新規蓄電固体デバイスに関する基礎・応用研究、蓄電固体界面の新規な計測・計算手法、および界面の精密な形成手法やナノ粒子を用いる材料開発研究等を対象とし、計画研究項目と積極的に連携する提案や、若手研究者による独創的・挑戦的な提案を歓迎する。応募上限金額は、実験系研究：300万円/年、理論系研究：200万円/年とする。公募詳細については、領域HP (<https://www.interface-ionics.jp/>) を参照のこと。公募要領および研究計画調書については、文部科学省HP (http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/main5_a5.htm) を参照のこと。応募書類提出期限は、ほかの科研費(若手研究、基盤研究等)の申請と同様に、各研究機関によって定められた日時であるので、所属研究機関に確認のこと。

科研費新学術領域研究(研究領域提案型)

「蓄電固体デバイスの創成に向けた界面イオンダイナミクスの科学」の公募研究募集

本領域は、固体内で電子・ホール以外にイオンが電荷キャリアーとなる材料(蓄電固体材料)の界面(蓄電固体界面)において、高速イオン輸送・高濃度イオン蓄積を自在に制御するための学理構築を目的とし、この知見をもとに蓄電固体材料を用いた様々な蓄電固体デバイス(全固体電池、固体キャパシタ、電子・イオンデバイス等)へと応用展

“掲示板”欄への掲載申込について

①掲載対象

- ①“掲示板”欄への掲載申込みは、原則として本会会員に限ります。
- ②掲載する内容は、研究助成金・補助金・賞などの候補者公募、求文献、不用品の贈呈・交換などです。
- ③掲載は1回に限ります。
- ④講演会などの行事の開催案内は掲載できませんので、それらは本会の共催・協賛・後援を得て、「講演会・講習会」欄にご投稿下さい。

②字数制限と掲載例

- ①原稿は600字以内で作成して下さい(英文は和文の0.55字で換算)。この文字数を超える原稿は、内容を省略し、題名、申込先のみを掲載します。
- ②掲載例として本会ホームページに最新号のPDF版を公開しております。<http://www.chemistry.or.jp/journal/chemical-industry>より「化学と工業」の関連リンク「最新の掲示板」をご覧ください。

③原稿締切日と掲載月

- ①原稿締切日は、毎月25日です。前月26日から当月25日までの投稿原稿は自動的に翌々月号に掲載となります。
- ②掲載月以降に掲載希望の場合は専用投稿フォーマットの“連絡事項”欄に明記して下さい。

④原稿作成と投稿方法

- ①原稿は専用投稿フォーマットを使用して下さい。
- ②専用フォーマット使用方法
 - A) 数字、英文字は半角で入力して下さい。
 - B) 機種に依存する文字の注意：機種に依存したり、インターネットでの転送を保証されていないため使用できない文字がありますのでご注意ください。

【使用できない文字例】

・半角カナ：アｶｶ, 記号(約物)：,。〔(・/ 等
・ローマ数字：I II III IV, 丸数字：①②③④

【使用可能な文字例】

・全角カナ、全角記号、アルファベットのI, V, X, Yを組み合わせてローマ数字を表現。
・文字の代わりに(1)(2)の表記を使用。

・組文字は全角(株)(有)mmでの表記にする。

- C) テキスト上で表現できない文字(外字、作字)については使用を避けして下さい。なお、人名・地名等の固有名詞で止むを得ない場合は●で印し、受理メール(受付番号付)に●印の指示を行いに送って下さい。その際、投稿フォーマットの“連絡事項”に必ずその旨を表記して下さい。
- D) 文書中で書式指定(上付き、下付き、イタリック体)を希望の場合は、タグ付け(HTML形式)をして下さい。

【見本】・上付き： $P^{2+} \rightarrow P$ ²
・下付き： $CO_2 \rightarrow CO$ ₂
・イタリック：*italic* <I> italic </I>

- ③原稿の作成が終わりましたら、画面下の送信内容確認ボタンをクリックすると別ウィンドが開きます。内容確認後送信ボタンをクリックすると投稿が完了します。投稿後、原稿の校正はありませんので間違えないように作成して下さい。
- ④電子投稿が完了しましたら、自動的に受理通知メールを発信人宛に返信します。受理メールにて、受付番号、掲載予定号並びに投稿原稿内容が確認できます。受理通知が届かない場合は、正常に原稿が受理されていない場合があるので、必ず受理通知をご確認下さい。
- ⑤投稿された原稿は、編集部により所定の様式に整理して掲載いたします。

⑤送信後に大幅な訂正が生じた場合

- ①当月25日まで；URLフォーマットの“連絡事項”欄に先に受け取った原稿受理通知番号、先の送信日付及び原稿差替えの旨を表記し再度送信して下さい。その際、E-mailにて三美印刷宛の旨をご通知下さい。
- ②26日以降は原則として訂正はできません。

⑥問合せ

【投稿に関する問合せ】

日本化学会学術情報部「化学と工業」誌事務局 電話(03)3292-6165

【修正に関する問合せ】

三美印刷「化学と工業」誌編集部

電話(03)5843-3580 E-mail: kakou-shi@sanbi.co.jp